

事務事業	11007	町立保育園運営事業	担当課	子育て支援課	担当係	保育係
計画 期 体 計 系 画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える		款	3	民生費
				項	4	児童福祉施設費
				目	2	保育園費
法令根拠条例等	児童福祉法・志免町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S38 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 保育を必要とする0歳から就学前までの子どもを保護者に代わって家庭的な雰囲気の中で保育し、子ども達一人ひとりの発達に応じて援助することで、豊かな人間性や人間形成の基礎を培う。また保護者の育児相談にも応じている。月曜日～土曜日(午前7時～午後6時・・・延長保育・午後6時～午後7時) 日曜祝日・12/28～1/31は休み。 志免南保育園において一時預り、短時間勤務の家庭向けに特定保育を実施。また、保育園に入所されていないお子さんと保護者に保育園の体験をしてもらう「園開放」を年数回行っている。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
主 な 事 業 費 の 内 訳	賄材料費 16,199 千円
	電気・ガス料 3,303 千円
	上下水道料 2,469 千円
	保育教材費 1,843 千円
	体育指導委託料 778 千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 保育を必要とする就学前までの子どもを保護者に代わって保育する。	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 7時～18時までの通常保育。遠足、運動会等の園行事。園開放。
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 保育を必要とする就学前の子どもとその保護者
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 保育に関する不安を解消する。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 開所日数	日	293	291	289 (見込)	
イ 入所者数(月平均)	人	357	221	240 (見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 入所者数(月平均)	人	357	221	240 (見込)	
イ 定員数	人	360	240	240 (見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位		29年度	30年度	31年度
ア 入所率(年間)	%	目標	102.0	100.0	100.0
		実績	99.2	92.0	
イ 待機児童数	人	目標	0.0	0.0	0.0
		実績	41	57	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	96	71	65	18,853	71	71
		受益者負担等	104,617	69,869	68,954	53,600	34,818	34,818
		一般財源	40,928	31,622	3,311	18,554	56,118	56,118
		合計(A)	145,641	101,562	72,330	91,007	91,007	91,007
		(内臨時・嘱託職員人件費)	99,478	68,652	41,682	55,239		
	正職員人件費[按分](B)	166,823	211,641	5,166	4,864			
トータルコスト(A)+(B)		312,464	313,203	77,496	95,871	91,007	91,007	

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
福岡市に隣接するという立地条件により、各種中小企業の進出のため住宅団地が完成し、急激な増加が続いた。また主婦の就労機会が増えるに伴って地域住民から保育所を求める声が強くなったため、昭和38年に志免保育園が設立された。その後、亀山、志免東、別府、志免南保育園の順に町立の認可保育園が設立された。	女性の社会進出やひとり親家庭の増加、水規制緩和等に伴うマンションの建設ラッシュによる転入者増等により、待機児童が出ている。平成16年度より、公立保育所の運営費に係る国庫・県費補助金が一般財源化され、公立保育所の民間移譲・委託が積極的に進められている状況にある。志免町も、平成20年に別府保育園を、平成25年に志免保育園を民営化した。また、平成30年度に亀山保育園を民営化し、町立2園での運営となった。	町民から待機児童解消の要望がある。また、保育園に入れなかった保護者からは、どうすればいいのかなどといった切実な声がある。保育士については、いつ補充されるのかといった声もある。

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	保育士不足により定員より少ない人数での受け入れとなったため、保育士の確保ができれば、待機児童の減少が見込める。研修等において保育士の質の向上に努め、また地域での子育て支援事業等にも取り組んでいく。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません)  <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	平成30年度においても、必要とする保育士の確保ができず、定員以下での受け入れとなった。研修については、当初の計画どおりに実施でき、各園での園開放も行った。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	保育を必要とする家庭の子どもを保育することは子育て支援の充実に結びついている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	安全安心な子育て環境整備を行うことは、行政の役割として妥当である。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	保育士不足により定員より少ない人数での受け入れとなったため、保育士の確保ができれば、待機児童の減少が見込める。
<b>評価</b> ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	保育園に入所を希望している児童を受け入れる施設がなくなり、安心して、子どもを育てることができなくなる。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	民営化という方法があるが、コストの大部分は人件費となっているため、民営化しても大きなコスト削減にはつながらない。

### (2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

町立保育園では、通常保育の中で、「丈夫な身体と豊かな心を育てる」を目標に保育を行った。見守りが必要な家庭については、町や園他関係機関と連携して対応に当たった。保育士の正規職員の採用や再任用を行い、保育士不足の解消につなげた。
--

## 3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	保育士不足により定員より少ない人数での受け入れとなったため、保育士の確保ができれば、待機児童の減少が見込める。